

農 A - 3

略 歴 書

(フリガナ)		(ジノウ タロウ)	生 年	大正・昭和・平成
氏 名		自農 太郎	月 日	年 月 日
住 所		〒 - 県 市 町 2-35		
		電話番号 - -		
略 歴	年 月 日	学 歴 ・ 職 歴 ・ 配 属 部 署 ・ 就 農		備 考
	昭和 年 月 日	県立 農業高校園芸科卒業		最終学歴を明記して下さい。大学等で農業生産に関する授業科目の単位を取得した場合はその旨も併せて記載して下さい。
	昭和 年 月 日	農業試験場本科卒業		
	平成 2年 4月 1日	J A 入社・営農指導に携わる		
		また兼業にて農業に従事始める		
	平成 7年10月 1日	J A 退社		
	平成 7年10月 2日	専業農家となり現在に至る		
資格・賞罰等		講習会受講日	年 月 日	
年 月	普通自動車免許	(講習会開催機関名)	(自然農法国際研究開発センター)	
年 月		以上の通り相違ありません		
年 月		年 月 日		
年 月		氏 名 自農 太郎 		
年 月				

最終学歴を明記して下さい。大学等で農業生産に関する授業科目の単位を取得した場合はその旨も併せて記載して下さい。

いつから農業に従事したかが分かるように記載して下さい。

略歴は資格要件を満たしていることが分かるように記載して下さい(最終学歴及び就農年数が必須)。記入例の自農太郎さんは、平成2年から就農しています(高卒の場合に求められる2年以上の農業生産に従事しています)。

講習会未受講者は、受講予定日を記入して下さい。

記名と捺印をお忘れなく!

農 A - 4 肥料及び土壌改良資材リスト（ 1 枚目）

2013 年 12 月 15 日作成 確認者： 自農 太郎

我々は本リストに記載した資材のみを用いて肥培管理等を行う事を報告します。下記内容を変更する場合は事前に報告します。

No	資材の正式名称 (愛称、略称等)	製造メーカー名	資材証明書の年月日 (資材リストを確認した日)	農 A-4 記載 年月日	使用目的	備考 (標準使用量等)
1	魚粗粕粉末 5 号 (魚粉)	肥料(株)	2012.10.10	2012.11.23	自家製資材ボカシ の原材料	
2	なたね油粕粉末 (油粕)	(株) 油脂	2012.10.21	2012.11.23	自家製資材ボカシ の原材料	
3	SMK 菌 (S M K)	微生物研究所	2012.11.15	2012.11.23	自家製資材ボカシ の原材料	
4	糖蜜	精糖(株)	2012.11.20	2012.11.23	自家製資材ボカシ の原材料	
5	有機育苗培土 (培土)	培土開発(株)	2013.2.10	2013.2.20	育苗用土	
6	牛ふん堆肥 (牛ふん)	牧場	2013.2.15	2013.2.20	元肥	年間 0.5 ~ 1 t / 10 a
7	牛ふん堆肥 (牛ふん x)	x 牧場	2013.2.19	2013.2.20	元肥	年間 0.5 ~ 1 t / 10 a
8	スーパー	バイオ (株)	2013.8.15	2013.8.20	追肥	必要時に散布 (500 ~ 1000 倍 を 50 ~ 150L/10a)
9	グリーン	製造所	2013.12.10	2013.12.15	土壌改良 元肥	年間 1 ~ 2 t / 10 a 登録番号 JASOM-1304
10						

資材が同じ名称の場合は、愛称や略称で、区別して下さい。例：No.6 と No.7

育苗に使用する培土、ほ場での肥培管理や土壌改良等に使用する資材を記載して下さい。自家製資材がある場合は、その原材料をこのリストに記載し、製造方法を「自家製資材の製造方法」に記載して提出して下さい。資材を追加する場合は、必ず使用前に資材証明書を取得し、財団にその資材の適合の可否を確認してから使用して下さい。適合確認済みの資材はこのリストへ記載し、変更届と共に提出して下さい。米糠や籾殻は外部入手のものでも資材証明書の取得は不要です。

有機 JAS 資材評価協議会の適合性評価済み資材リストに記載されている資材は、有機管理で使用が可能ですので、これらの資材を使用する際は、その資材を No.9 の記載例を参照して記載を行い、変更届と共に提出して下さい。

「農 A-4 記載年月日」は本リストに、資材を記載した日を記入して下さい。
このリストが複数枚になる場合は何枚目かを必ず記入して下さい。

本申請書は捺印した原本を提出して下さい。

農B1-1

認定申請書の申請者名の欄に記載した名前を記載して下さい。

氏名の欄に記載した名前が「農家名」となります。

捺印をお忘れなく！

農家基礎台帳

20 年 月 日作成

生産行程管理者名(フリガナ)	熱海有機生産グループ (アタミエコファサイザングループ)	
氏名(フリガナ)	自農 太郎 (ジノウ タロウ)	(T・S・H 38年 2月 21日 生 51歳)
郵便番号・住所	〒 静岡県 市 町 2-32	
電話番号	携帯電話	- - -
FAX番号	E-mail アドレス	nintei@infrc.or.jp
農業従事者	家族 4 人(本人、自農花子(妻)、自農大地(長男)、自農稲子(次女))	
	雇用 1 人(畑作次郎)	
		計 人

2 重線枠内は記入しないで下さい

登録番号	
備考	

- ・ほ場の地番や面積の根拠を示す書類を併せて提出して下さい。
- ・登記簿上、複数の筆になっているほ場でも実際には1枚のほ場になっている場合は、1枚のほ場として申請して下さい。

申請ほ場一覧

有機管理のほ場として申請されるほ場（育苗に使用するビニールハウス含む）を全て記入して下さい。

農家名	自農 太郎					
ほ場番号	通称名	所在地 (番地まで記入して下さい)	所有地 借地	面積 (露地はa)	有機管理 開始年月日	耕作状況
1	自宅裏1	県 市 町 2-33	所・借	28.5a	2012年10月9日	水稻
2	自宅裏2	県 市 町 2-34	所・借	28.5a	2012年10月9日	水稻
3	自宅裏3	県 市 町 2-35-1	所・借	108 m ²	2012年9月15日	メロンハウス
4	駅裏1	県 市 町 563-1、564、565	所・借	40.5a	2011年12月15日	梨園
5	駅裏2	県 市 町 563-2	所・借	30.0a	2012年4月15日	畑
					年 月 日	
					年 月 日	
					年 月 日	

複数の筆のほ場の場合は、全ての地番を漏れなく記載して下さい。

市町村名を省略せず地番まで正確に記載して下さい。

日誌や記録に通称名（自身では場に付けた名称）を使用する場合は記載して下さい。通称名をつけなくても構いません。

漏れなく記載して下さい。

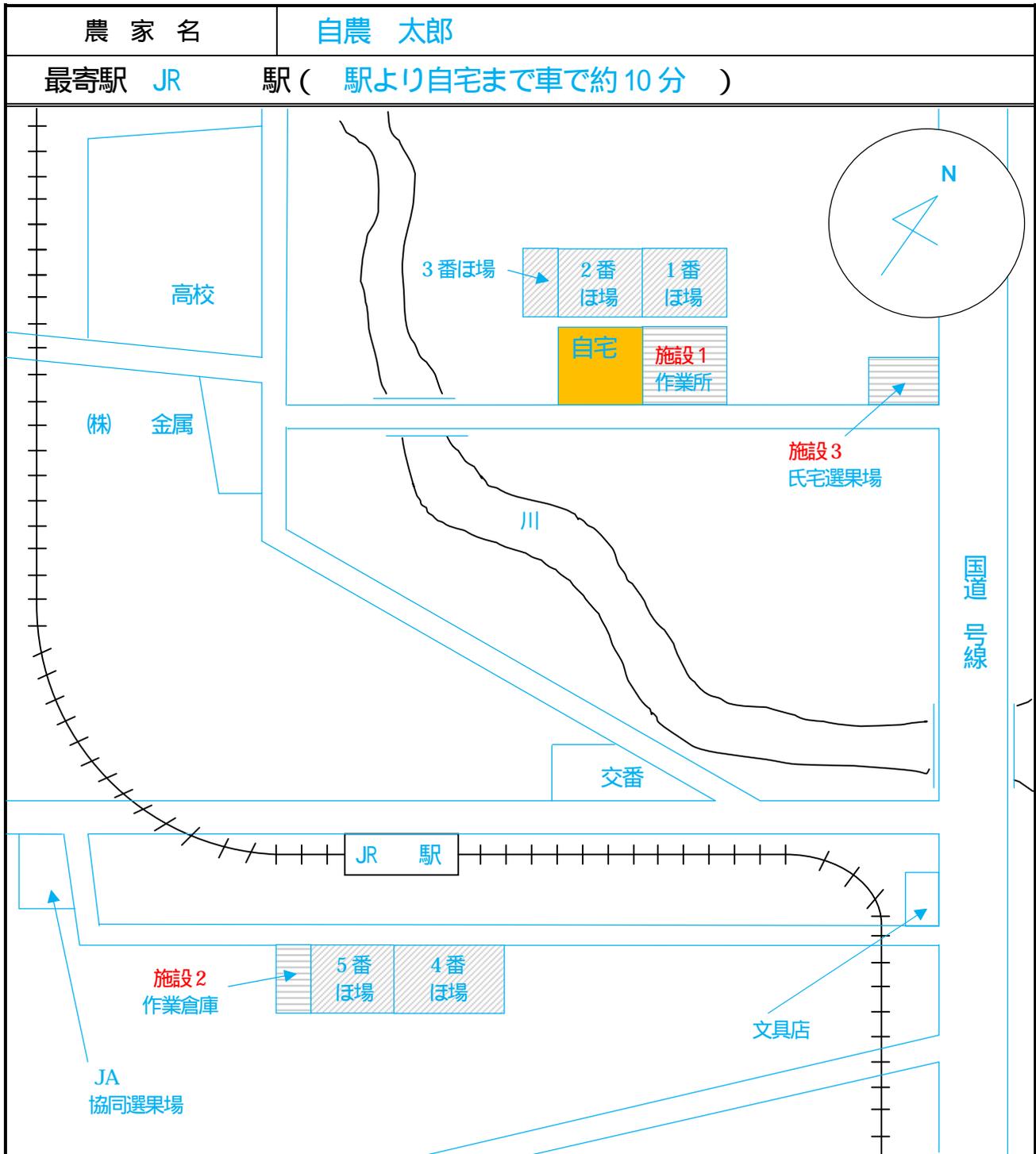
有機管理開始年月日は、生産管理記録等で、確認できる日付を記載して下さい。申請には、ここに記載した日付以降、1年以上の生産管理記録等の提出が必要です。

申請ほ場以外の耕作ほ場（無い場合には「0」を記入して下さい）

水田 200 a (ほ場枚数 6 枚) 畑 30 a (ほ場枚数 1 枚)
 果樹園 60 a (ほ場枚数 1 枚) その他 0 a (牧草地数 0 枚)

面積：露地の場合はa(アール)で小数点第2位を四捨五入して、ビニールハウスの場合は平米(m²)で小数点第1位を四捨五入して下さい。

申請ほ場・施設などの位置概要地図



認定申請ほ場、施設及び自宅の位置関係が分かるように記入して下さい。

検査員が認定申請ほ場の位置を確認し易いように目印になる建物等があれば記入して下さい。

自宅の敷地内に施設がある場合で、位置関係がわかりにくい場合は別紙に詳細を記入して下さい。

認定申請ほ場や施設が離れている場合は複数枚に分けて記入して下さい。

右上の円内には方位を記入して下さい。

役場や農協等から、地番・面積などの記載のある地図(字絵図、土地確定図)などが入手可能な場合は、それに認定申請ほ場番号や施設番号を書き込んで添付して下さい。

申請ほ場の周辺図

認定申請ほ場の周辺の詳細を記入して下さい。

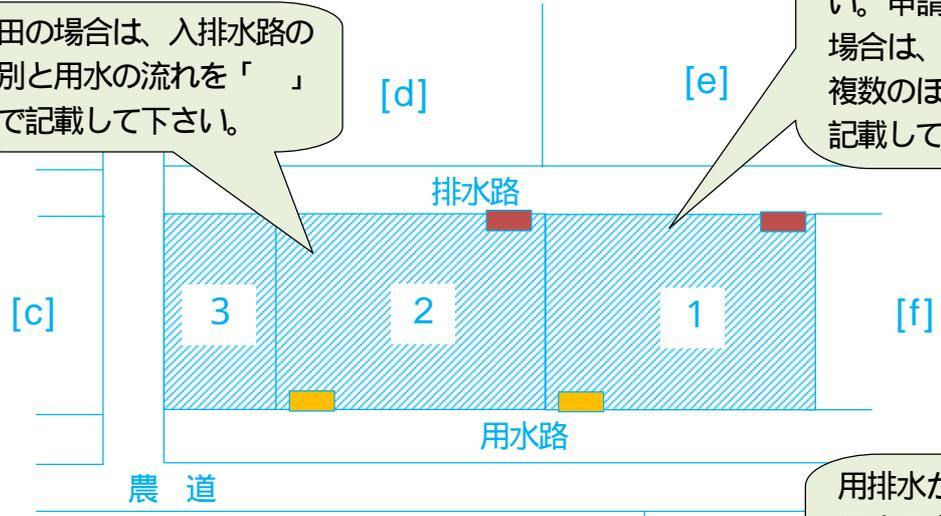
農家名	自農 太郎
通し番号	1.2.3.
通称名	自宅裏1.2.3
地目と主な栽培品目	1と2は水田、3はメロンハウス

申請ほ場一覧に記載したほ場番号を記載して下さい。

申請ほ場一覧に記載した通称名を記載して下さい。

申請ほ場は斜線を引くなどして分かりやすく記載して下さい。申請ほ場が近接している場合は、ほ場番号を記載して複数のほ場を1枚にまとめて記載しても構いません。

水田の場合は、入排水路の区別と用水の流れを「」等で記載して下さい。



ほ場で使用する用水の水源名を記入して下さい。(例：河川名、用水名、溜池名等)

用排水が兼用の水路の水を使用する水田は、原則、浄化水田(10㎡以上)の設置が必要です。

用水の水源	用水(川より)	浄化水田設置の必要性	有・無
	隣接地の土地利用	隣接地までの距離	汚染防止対策
[a]	自宅	6m	用水路と農道(不要)
[b]	施設1作業所	6m	用水路と農道(不要)
[c]	慣行水田	4m	農道(不要)
[d]	慣行水田	3m	排水路(不要)
[e]	慣行水田	3m	排水路(不要)
[f]	慣行水田	0.5m	1m以上を緩衝地帯とし別収穫する。
[g]			

航空防除対象地域に(含まれる・含まれない)

航空防除対象地域に含まれるか否について、該当する方は

重要 緩衝地帯を設置した場合、設置した緩衝地帯の距離、緩衝地帯内の収穫物の処理(例：収穫しない、別収穫する、最初から作付しない等)についても記載して下さい。

申請ほ場の周辺図

認定申請ほ場の周辺の詳細を記入して下さい。

農家名		自農 太郎					
通し番号	4 5	通称名	駅裏1 駅裏2	地目と主な 栽培品目	4は梨園 5は畑で葉菜類		
				隣接地の 土地利用	隣接地ま での距離	汚染防止対策	
			[a]	山林 (法面)	0m	薬剤散布なし (不要)	
			[b]	施設2 作業倉庫	0m	除草剤散布なし (不要)	
			[c]	慣行果樹園	5m	町道(不要)	
			[d]	慣行果樹園	0m	1m以上を緩衝 地帯とし収穫を しない。	
			[e]				
			[f]				
用水の水源		パイプライン (川より)		[g]			
浄化水田設置の必要性		有・無		航空防除対象地域に(含まれる・含まれない)			
通し番号				地目と主な		汚染防止対策	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0e0;"> <p>重要 隣接地がほ場でなく、住宅、公園、学校、駐車場などであっても、植木への薬剤の散布や除草剤の散布が行われたりすることもありますので、必ず確認を行って下さい。</p> </div>							
				[b]			
				[c]			
				[d]			
				[e]			
				[f]			
用水の水源				[g]			
浄化水田設置の必要性		有・無		航空防除対象地域に(含まれる・含まれない)			

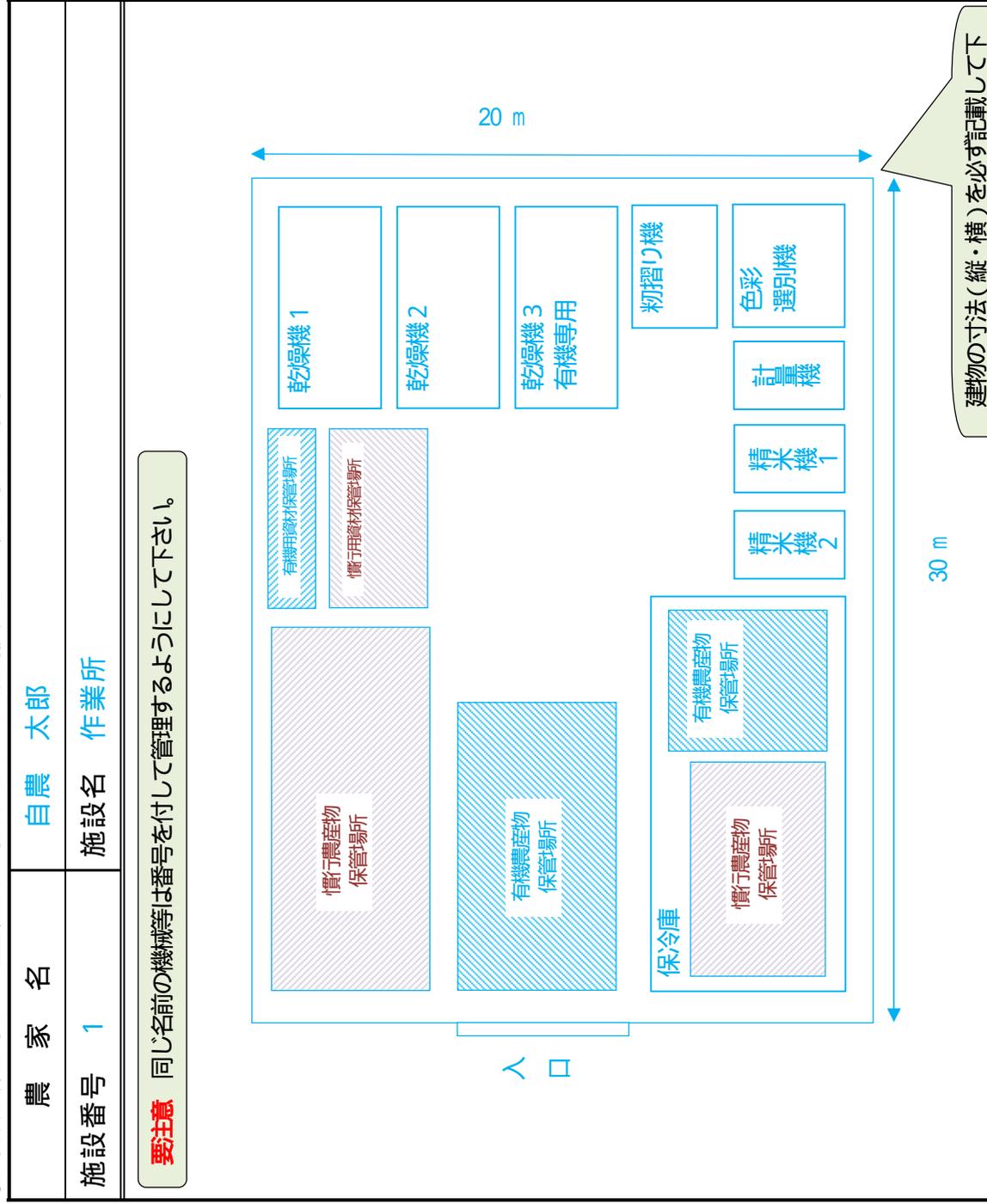
航空防除対象地域に含まれるか否について、該当する方に印を付けて下さい。

有機農産物の生産に使用する施設一覧

農 家 名		自農 太郎		
施設番号	施設名及び所在地	個人・共有	使用目的	施設内での病害虫対策
1	施設名： 作業所 所在地： 県 市 町 2-32	本人・共同	農産物保管・調製・出荷・格付 備品保管・機械保管・資材保管 その他（ ）	ネズミ捕りシート設置
2	施設名： 作業倉庫 所在地： 県 市 町 2001-5	本人・共同	農産物保管・調製・出荷・格付 備品保管・機械保管・資材保管 その他（ ）	なし
3	施設名： 氏宅選果場（委託） 所在地： 県 市 町 12-18	本人・共同 氏	農産物保管・調製・出荷・格付 備品保管・機械保管・資材保管 その他（ ）	ネズミ捕りシート設置
	施設名： 市町村名を省略せず地番まで正確に記載して下さい。		<p>以下の施設は、全て記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機農産物を保管・貯蔵する施設 ・有機管理に使用する肥料や土壌改良資材などの資材を保管する施設 ・有機農産物の調製作業を行う施設 ・育苗を行う施設 <p>機械や器具等の保管のみを行う施設については、この一覧に記載して頂く必要はありません。 生産管理の一部を委託する場合は、その管理で用いる委託先の施設も記載して下さい。 この一覧に記載のある施設は、委託先の施設を含めて全て現地確認を行います。 委託先の施設やそこで使用される機械等の管理責任も生産行程管理責任者にあります。</p>	
	施設名：			
	所在地：			
	施設名：			

「使用目的」は該当する項目に印をつけて下さい(複数可)。

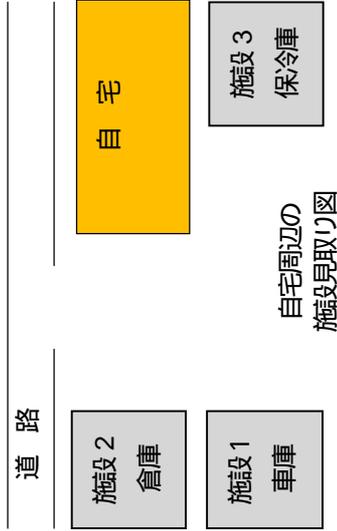
有機農産物の生産に使用する施設等の見取り図



施設一覧（農 B2-1）に記入した施設全ての見取り図を作成して下さい（内容が的確に確認できれば1枚の用紙に複数の施設を記入しても構いません）。

見取り図には以下の場所を必ず記入して下さい（非有機の取り扱いもあればそれも記入して下さい）。

- ◆ 収穫物の保管場所
 - ◆ 調製作業を行う場所
 - ◆ 資材（肥培管理用・一般管理用）、農薬及び薬剤の保管場所
 - ◆ 使用機械の設置場所など
 - ◆ 農薬や薬剤使用の場合はその設置場所建物の寸法（横・縦）を必ず記入して下さい。
- 2階建ての場合には、2 階部分の見取り図も作成して下さい。（有機管理で使用しなければ不要です）。
- 同じ敷地内に施設が複数ある場合はその位置関係が分かるように以下のような図をつけて下さい。



有機農産物の生産に使用する器具・備品一覧

農家名		自農 太郎									
No.	備品名	使用目的	規模 容量	数量	設置又は 保管場所	有機と非有機との利用区分 (兼用の場合は区分方法を記載)	備考(洗浄方法など)				
1	コンテナ大	収穫物保管	30×80 cm	50	1	専・兼(有機は青・慣行は赤)	使用前に洗浄(水洗い)				
2	コンテナ小	収穫物保管	20×60 cm	120	1	専・兼(同上)	同上				
3	計量器L	計量	100kg まで		1・2	専・兼(洗浄)	使用後に洗浄(水拭き) 使用前に洗浄済み確認				
4	水稻育苗箱	育苗	平箱	200	1	専・兼(同上)	使用前・後に洗浄				
5	ポリタンクL	資材散布	500L	2	1・2	専・兼()	有機ほ場専用				
6	ドラム缶	ポカシ製造	100L	14	2	専・兼()	ポカシ製造以外に使用しない				
7	グリーンコブ	モミ運搬	1t	1	1	専・兼(清掃)	有機での使用前に清掃 (エアール・筭ばき)				
8	手動噴霧器	液肥等散布	20L	1	2	専・兼(洗浄)	使用後に洗浄 使用前に洗浄済み確認				
9						専・兼()					
10						専・兼()					

器具・備品とは収穫物や投入資材の運搬・保管、仕分け、散水、計量等の作業を行うために主に使用するものです。グリーンコンテナ、収穫コンテナ、ポリタンク、計量器、育苗箱、その他。鍬や鎌、剪定鋏、スコップ等の記入は不要です。
有機専用か有機と非有機と兼用か利用区分を明記して下さい。

要注意

- ・同じ名前の機械等は番号を付して管理するようにして下さい。
- ・大型機械等で施設に設置しているものは、施設の見取り図に設置場所を記載して下さい。

有機農産物の生産に使用する機械等一覧

農 家 名		自農 太郎						
No.	機 械 名 (形式・メーカー名)	規 模	個人 共有	数 量	設置又は 保管場所	有機と非有機との利用区分 (兼用の場合は区分方法を記載)	備考 (洗浄方法など)	
1	トラクター	25ps	個・共	2	1	専・兼 (使用前後の清掃・確認)	使用後に洗浄、使用前確認 (機械の使用・清掃記録を作成確認)	
2	管理機	5ps	個・共	1	2	専・兼 (同 上)	使用後に洗浄、使用前確認 (機械の使用・清掃記録を作成確認)	
3	田植機 1	6 条	個・共	1	1	専・兼 ()	使用後に清掃	
4	水田除草機	4 条 (2ps)	個・共	1	1	専・兼 ()	使用後に清掃	
5	刈り払い機 1	2ps	個・共	1	1	専・兼 ()	使用後に清掃	
6	コンバイン 2	4 条	個・共	1	1	専・兼 ()	使用後に清掃	
7	乾燥機 3	20 石	個・共	1	1	専・兼 ()	使用後に清掃	
8	初摺り機		個・共	1	1	専・兼 (使用前後の清掃・確認)	使用後に洗浄、使用前確認 (機械の使用・清掃記録を作成確認)	
9	精米機 1		個・共	1	1	専・兼 (同 上)	使用後に洗浄、使用前確認 (機械の使用・清掃記録を作成確認)	
10	精米機 2		個・共	1	1	専・兼 (同 上)	使用後に洗浄、使用前確認 (機械の使用・清掃記録を作成確認)	

有機に使用する機械は全て記入して下さい。トラック、トラクター(各種アタッチメント等も)、耕耘機(管理機)、除草機、草刈機、動力散布機、ポンプ類、田植機、コンバイン、乾燥機、モミすり機、精米機、プロードキャスター、選果機、攪拌機、その他、有機専用か有機と非有機と兼用か利用区分を明記して下さい。

自家製資材の製造方法

自家製資材名		ボカシ II 型		農家名		自農 太郎	
No	原材料名	入手先	製造メーカー名	資材証明書の有無	配合比率	ほ場での使用量	
資材の特徴 (作り方・使用目的等)							
材料を混合した後、微生物資材の SMK 菌と糖蜜の希釈液をさらに混合し、良く混ぜた後にポリタンクの中で半年以上発酵熟成させる。肥料及び土壌改良材として土壌に施用する。							
1	魚粗粕粉末 5 号	外部・内部	肥料(株)	有・無	10.0	単位は Kg(L)/10a	
2	なたね油粕粉末	外部・内部	(株) 油脂	有・無	10.0	年間約 200 kg/10a	
3	米 糠	外部・内部		有・無	10.0		
4	SMK 菌	外部・内部	微生物研究所	有・無	0.1		
5	糖 蜜	外部・内部	精糖(株)	有・無	0.1		
6	水	外部・内部		有・無	0.8		

- ・ 事業者自身が製造（混合・加工）する 1 資材につき 1 枚作成して下さい。自家製の堆肥、ボカシ、発酵液などが該当します。
- ・ 原材料名欄に記載がある資材については農林規格に適合していることを確認して、「農 A-4 肥料及び土壌改良資材リスト」へ記載して下さい。
- ・ 全ての原材料について内容証明書を提出することを原則とします。ただし、米糠や粉穀等は内容が確認できていれば、外部入手のものでも資材証明書の取得は不要です。
- ・ 有機 JAS 資材評価協議会の適合性評価済み資材リストに記載されている資材についても資材証明書の取得は不要です。
- ・ 原材料名欄に記載する資材名は、その資材が特定できるように資材証明書に記載されている正式名称、若しくは農 A-4 リストに記載した愛称、略称等を記載して下さい。

この書式は「生産行程の検査」を行う際に使用する管理記録に必要な事項を概ね満たすように作成した書式の一例です。
この書式に適切に記録をすれば、農 S-2.3.4.5.の作成を省くことが可能です。

農 S - 1 生産管理記録

(記録期間 20 年 月から 月まで)

記録期間に空白期間がないように記載して下さい。

農 家 名	ほ場番号	ほ場面積	栽培品目 (品種)	種・苗の有機性 (採種ほ場)		清掃方法
				57 a	イネ (コシヒカリ)	
作業内容						
年月日	使用種子・苗/使用資材	種子・苗名 資材名	数量	機械名 器具名	清掃実施 使用前 使用后	清拭方法
2012年 10/9	慣行水稲刈り取り	牛ふん	1t/10a	トラクター マックスプレッダ-	<input checked="" type="checkbox"/>	水洗い
2013年 4/25	耕起・元肥施用	EM 活性化液	100L/10a	トラクター	<input checked="" type="checkbox"/>	水洗い
4/30	入水	自家育苗苗	20箱/10a	田植機	<input checked="" type="checkbox"/>	水洗い
5/3	代かき・EM 流し込み	米ぬか	50kg/10a	除草機	<input checked="" type="checkbox"/>	空気洗浄
5/20	田植え	EM 活性化液	100L/10a	散布機	<input checked="" type="checkbox"/>	空気洗浄
5/25	補植・米ぬか散布	ボカシ II 型	60kg/10a			
6/10	除草					
6/25	EM 流し込み					
7/3	ボカシ散布					
8/10	除草					
9/24	稲刈り (1 番の緩衝地帯)			コンバイン	<input checked="" type="checkbox"/>	空気洗浄
9/25	稲刈り (1 番)			コンバイン	<input checked="" type="checkbox"/>	空気洗浄
9/26	稲刈り (2 番)			乾燥機	<input checked="" type="checkbox"/>	空気洗浄
9/26	乾燥			初摺り機	<input checked="" type="checkbox"/>	空気洗浄
9/27	初摺り			選別機	<input checked="" type="checkbox"/>	空気洗浄
	選別・調製・袋詰 【30 kg x 96 袋 (玄米)】			調製機	<input checked="" type="checkbox"/>	空気洗浄

生産行程の検査に使用する管理記録の書式はこれ以外でも構いませんが、その際は、どの管理記録の書式を生産行程の検査に使用するのかが内部規程に定めて下さい。
日々の作業について、直接この記録書式に記入しても良いですし、或いは、一旦、手帳や作業日誌に記録して、その後、この記録書式に転記しても構いません(生産行程の検査を実施するまでに転記しておく必要があります)。

この用紙 1 枚に複数
のほ場の記録を記載
する場合は、どのほ場
での作業であるか分
かるように記載して
下さい。

緩衝地帯の有無 有 無
緩衝地帯作付の有無 有 無
緩衝地帯作付有の場合の処理
別収穫日：2013年9月24日
別収穫量： - kg
別収穫物の処理：
慣行扱い 自家消費
その他()

農S-2 育苗管理記録 (2013 年)

・この書式は生産管理記録を補足するものとして、必要に応じて作成して下さい。
 ・農S-1に育苗の記録を記載する場合は、この書式の作成は不要です。

農家名		自農 太郎		育苗した作物名 (品種名)		イネ (コシヒカリ)					
種子の入手先		認定ほ場2番から自家採種した種子									
育苗場所 ()		認定ほ場		登録施設		施設3の育苗ハウス		植付ほ場		1.2.	
年月日	作業内容	使用資材名		使用機械・備品名		清掃方法	清掃実施 使用前 使用后	使用資材名	製造メーカー	資材証明書の有無	配合割合 (%)
		名称	数量	名称							
2012年 10/20	床土配合	詳細右記	700L					山土	(株) 土建	有	300L
2013年 3/1	育苗箱準備		350箱	育苗箱		水洗い	<input checked="" type="checkbox"/>	ボカシII型	自家製	無	20L
3/3	塩水選	塩	1kg (比重1.15)					くん炭	自家製	無	100L
3/3	種子浸種	EM 活性化液	50cc (500倍)					土壌	2番から採取	無	280L
4/1	催芽			催芽機							
4/2	播種 覆土	種初 山土	45kg 150L								
4/2	プール配置 以降適宜灌水		350箱								
4/14	プールへ入水										
4/20	EM 流し込み	EM 活性化液	500cc								
4/30	EM 流し込み	EM 活性化液	500cc								
5/10	EM 流し込み	EM 活性化液	500cc								
5/20	苗搬出			苗取り板 軽トラック		水洗い	<input checked="" type="checkbox"/>				
								備考 (育苗土の製造方法等)			
								上記の原材料を混合して堆積発酵させる。			
								育苗土熟成期間日数 約 90 日			

育苗に失敗した場合でも、失敗するまでの管理の記録は作成して保管して下さい。

認定ほ場で育苗を行う場合は、認定ほ場番号を、登録施設で育苗を行う場合は、施設番号を、育苗土が自家製の場合、材料、配合割合を記入し、製造方法について備考欄に記載して下さい。

農S - 3 使用種苗リスト (2013 年の使用種苗)

農 家 名		自農 太郎									
No	作物名・品種名 種子・苗の別	入手方法 (入手先) ()	組換え DNA 由来 種子の有無	種子・苗 の種類 ()	非有機苗の 確認 ()	非有機種子・苗 の入手の理由	播種又は植付 けたほ場番号	備 考			
1	作物名 (イネ) 種子 品種名 (コシヒカリ) 苗	<input checked="" type="checkbox"/> 自家採種 (2 番) 購入 ()	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・不・他	使用無		1・2				
2	作物名 (トマト) 種子 品種名 (桃太郎) 苗	自家採種 () <input checked="" type="checkbox"/> 購入 (農協)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	有・不・ <input checked="" type="checkbox"/> 他	<input checked="" type="checkbox"/> 使用無	育苗失敗	5	内容証明書 入手済み			
3	作物名 (ホウレン草) 種子 品種名 (ラビット) 苗	自家採種 () <input checked="" type="checkbox"/> 購入 (農協)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	有・不・ <input checked="" type="checkbox"/> 他	使用無	自家採種不可 能な為	5				
4	作物名 () 種子 品種名 () 苗	自家採種 () 購入 ()	有 無	有・不・他	使用無						
5	作物名 () 種子 品種名 () 苗	自家採種 () 購入 ()	有 無	有・不・他	使用無						
6	作物名 () 種子 品種名 () 苗	自家採種 () 購入 ()	有 無	有・不・他	使用無						
7	作物名 () 種子 品種名 () 苗	購入 ()	無	有・不・他	使用無						
8	作物名 () 種子 品種名 () 苗	自家採種 () 購入 ()	有 無	有・不・他	使用無						
9	作物名 () 種子 品種名 () 苗	自家採種 () 購入 ()	有 無	有・不・他	使用無						
10	作物名 () 種子 品種名 () 苗	自家採種 () 購入 ()	有 無	有・不・他	使用無						

・この書式は生産管理記録を補足するものとして、必要に応じて作成して下さい。
 ・農 S-1 に使用した種苗に関する記録を記載する場合は、この書式の作成は不要です。

入手方法(入手先)について、自家採種の場合は採種したほ場番号を、購入の場合は購入先名(種苗メーカー名等)を記入下さい。
 種苗の種類[有]有機管理で栽培された種子・苗 [不]使用禁止資材を使用せずに栽培・調製された種子・苗 [他]それ以外の種子・苗
 非有機苗を購入して使用する場合(種子・苗の種類)の項で[他]を選択した場合、ほ場で持続的效果を示す化学肥料や農薬が使用されていないことの
 確認が必要となります。使用がないことを確認した場合は、使用無にして下さい。

農S - 4 機械使用状況報告書 (2013 年の使用記録)

有機農産物の生産に使用した機械の記録です。同じ機械を有機農産物の生産とそれ以外の農産物の生産の両方で使用している場合に活用頂けます。

農 家 名		自農 太郎											
日付	作業内容	使用 機械名	使用 ほ場番号	栽培区分	清掃実施		日付	作業内容	使用 機械名	使用 ほ場番号	栽培区分	清掃実施	
					使用 前	使用 後						使用 前	使用 後
5/1	薬剤散布	噴霧器	20~25	オ・転・慣	<input checked="" type="checkbox"/>						オ・転・慣		
9/14	収穫	コンバイン	20~25	オ・転・慣									
9/14	緩衝地帯 収穫	コンバイン	1.2	オ・転・慣									
9/15	収穫	コンバイン	1.2	オ・転・慣	<input checked="" type="checkbox"/>								
9/15	乾燥	乾燥機 3	1.2	オ・転・慣	<input checked="" type="checkbox"/>								
9/16	調製	初搾り機	20~25	オ・転・慣									
9/16	色彩選別	色選機	20~25	オ・転・慣									
9/17	調製	初搾り機	1.2	オ・転・慣	<input checked="" type="checkbox"/>								
9/16	色彩選別	色選機	1.2	オ・転・慣	<input checked="" type="checkbox"/>								
				オ・転・慣									
				オ・転・慣									
				オ・転・慣									
				オ・転・慣									
				オ・転・慣									
				オ・転・慣									
				オ・転・慣									

・機械を有機以外にも使用している場合は、有機と非有機の切り替え時に適切な区分管理（有機に使用する前の清掃）が行われていることが必須です。この記録書式は兼用の機械の区分管理が適切に行われていることを記録する書式として活用頂けます。

・この書式は生産管理記録を補足するものとして、必要に応じて作成して下さい。

・農S-1 に使用した機械とその清掃に関する記録を記載する場合は、この書式の作成は不要です。

・この記入例のように複数の機械を一枚に記載することもできますが、機械ごとに記載する方法もあります。

・実際には、各機械に記録用ノートを備え付けておき、作業後に逐次記録するあり方が望ましいです。

農 S - 5 農薬・薬剤及び調製用資材使用リスト (2013 年の使用記録)

有機農産物の生産ほ場や保管施設において、やむを得ない理由により使用した農薬・薬剤・調製用資材を記入して下さい。

農 家 名		自 農 太 郎									
日付	使用資材名	製造メーカー名	入 手 先	農薬等の別表上の種類	別表区分	使用場所 ()	資材使用の理由	使用方法			
5/8	-A 剤	日本除虫菊(株)	肥料店	除虫菊乳剤	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 2 <input type="checkbox"/> 別表 4 <input type="checkbox"/> 別表 5	<input checked="" type="checkbox"/> ほ場 (5 番) <input type="checkbox"/> 施設 ()	大量発生の アブラムシ防除の為	1000 倍希釈液を 5000L 散布			
9/10	-B 剤	(株) 日本農薬	JA	BT 剤	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 2 <input type="checkbox"/> 別表 4 <input type="checkbox"/> 別表 5	<input checked="" type="checkbox"/> ほ場 (3 番) <input type="checkbox"/> 施設 ()	毎年発生の多い コナガ対策の為	1000 倍希釈液を 5000L 散布			
11/10	焼酎	酒造(株)	商店	エタノール	別表 2 別表 4 <input checked="" type="checkbox"/> 別表 5	ほ場 () <input checked="" type="checkbox"/> 施設 (2 番)	渋柿の渋抜き	焼酎(100cc/50 個) に渋柿のへたを浸 しビニール袋に入 れて 2 週間程置く			
12/13	トガラシ 粉	有限公司	スーパー 店	カブサイシン	別表 2 <input checked="" type="checkbox"/> 別表 4 別表 5	ほ場 () <input checked="" type="checkbox"/> 施設 (3 番)	施設に設置している 機械の配線保護の為	50g を配線へ塗布			
					別表 2	ほ場 ()					
<ul style="list-style-type: none"> ・この書式は生産管理記録を補足するものとして、必要に応じて作成して下さい。 ・農 S-1 に使用した農薬や薬剤及び調製用資材に関する記録を記載する場合は、この書式の作成は不要です。 											
					別表 4 別表 5	ほ場 () 施設 ()					
					別表 2 別表 4 別表 5	ほ場 () 施設 ()					

使用場所が認定ほ場の場合は認定ほ場番号を、登録施設の場合は施設番号を記入して下さい。

公益財団法人 自然農法国際研究開発センター 御中

既に届けております有機 J A S 認定申請に係わる申請書類の内容について、以下のように変更いたしましたのでお届け致します。

No.	届け済み内容	変更箇所	変更理由	添付書類
1	自農太郎氏 5 番ほ場	取下げ	基盤整備の為	農 B1-2
2	自農稲子氏	施設 5 番を追加	米の乾燥調製施設新築の為	農 B1-3, B2-1, B2-2
3	自農健太氏	生産行程管理担当者に追加	担当者の増員の為	農 A-2, A-3
4	格付責任者 自農花子氏	自農大地氏へ変更	自農花子氏高齢の為	農 A-2
5				

生産行程管理者名（認定事業者名）	代表者名（責任者名）	記入者名
熱海有機生産グループ	自農 太郎	自農 大地

変更申請書(ほ場の追加)

記入例 (青字の部分)

作成日: 2014年 4月 15日

認定事務局 御中

ほ場の追加について、以下のように必要書類の提出と共に変更申請いたします。

変更申請の実地確認について、 (希望する方に印をつけて下さい)	<input type="checkbox"/> 臨時調査で実施する。 <input checked="" type="checkbox"/> 年次調査と合わせて実施する。
格付表示しての出荷希望時期があれば書いて下さい。	2014年 8月 上旬頃 を希望

生産行程管理者名	東京有機栽培グループ
代表者名	自農 太郎

ほ場の追加申請をしている生産農家名		丸太 高次												
追加申請しているほ場番号		3	4	5										
ア)	<input checked="" type="checkbox"/> 申請ほ場一覧(農B1-2)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
イ)	<input checked="" type="checkbox"/> 申請ほ場・施設などの位置概要地図(農B1-3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ウ)	<input checked="" type="checkbox"/> 申請ほ場の周辺図(農B1-4)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エ)	<input checked="" type="checkbox"/> 生産管理記録(育苗があるものは育苗管理記録含む) 1年以上有機管理されたほ場のみ申請が可能	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オ)	<input checked="" type="checkbox"/> 栽培計画書	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
※追加申請しているほ場の状態 (有機・転換期間中)		有	有	転										
カ)	<input checked="" type="checkbox"/> 追加申請しているほ場の地番・面積の根拠となる書類	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
キ)	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (以下の3点の書類)													
	<input checked="" type="checkbox"/> 肥料及び土壌改良資材リスト(農A-4)												有機ペレットボカシ	
	リストに追加した資材名													
	<input checked="" type="checkbox"/> 資材証明書												有機ペレットボカシ	
	資材証明書を提出した資材名													
	<input type="checkbox"/> 自家製資材の製造方法(農D-1)													
	追加した自家製資材名													

- 注: グループの2農家以上がほ場の追加申請を行う場合はそれぞれの農家がこの変更申請書を作成して下さい。
- 注: ア)~オ)の書類の提出は必須ですので、□にはすべて印をつけて下さい。
追加するほ場の記載がそれぞれの書類に記載があるかを確認して□に印をつけて下さい。
- 注: ※については、追加ほ場の状態が有機なのか転換期間中なのかを記載して下さい。
有機は「有」と転換期間中は「転」と記載して下さい。
- 注: カ)の書類は、登記簿や市役所・町役場、農協等が発行する土地台帳などが該当します。
- 注: キ)の書類の提出は必須ではありませんので、必要に応じて提出する際は□に印をつけて下さい。
追加申請しているほ場で使用された全ての資材の内、農A-4に記載がない資材について全てリストに追加して提出して下さい。追加した資材名をキ)に記載して下さい。
追加申請しているほ場で使用された全ての資材の内、農A-4に記載がない資材について、全ての資材証明書を取得して、そのコピーを提出して下さい。資材証明書を提出する資材名をキ)に記載して下さい。
追加申請しているほ場で使用された全ての資材の内、自家製資材があり、農D-1が提出されていないものがある場合、その資材の農D-1を作成して提出して下さい。追加した自家製資材名をキ)に記載して下さい。

変更申請書(生産農家の追加)

記入例 (青字の部分)

作成日: 2014年 5月 20日

認定事務局 御中

生産農家の追加について、以下のように必要書類の提出と共に変更申請いたします。

変更申請の実地確認について、 (希望する方に印をつけて下さい)		<input checked="" type="checkbox"/> 臨時調査で実施する。 <input type="checkbox"/> 年次調査と合わせて実施する。										
格付表示しての出荷希望時期があれば書いて下さい。		2014年 9月 下旬を希望										
生産行程管理者名		東京有機栽培グループ										
代表者名		自農 太郎										
追加申請をしている生産農家名		時流 光										
追加する新規の生産行程管理担当者名		時流 光、時流 美津子										
追加する新規の格付担当者名		時流 光、時流 美津子										
ア)	<input checked="" type="checkbox"/> 生産行程の管理または把握の方法及び格付の体制・組織(農A-2)	<input checked="" type="checkbox"/>										
イ)	<input checked="" type="checkbox"/> 略歴書(農A-3) 新規に追加した生産行程管理担当者及び格付担当者全員分	<input checked="" type="checkbox"/>										
ウ)	<input checked="" type="checkbox"/> 農家基礎台帳(農B1-1)	<input checked="" type="checkbox"/>										
追加生産農家が申請しているほ場番号		1	2	3	4	5	6					
エ)	<input checked="" type="checkbox"/> 申請ほ場一覧(農B1-2)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
オ)	<input checked="" type="checkbox"/> 申請ほ場・施設などの位置概要地図(農B1-3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
カ)	<input checked="" type="checkbox"/> 申請ほ場の周辺図(農B1-4)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
キ)	<input checked="" type="checkbox"/> 生産管理記録(育苗があるものは育苗管理記録含む) 1年以上有機管理されたほ場のみ申請が可能	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
ク)	<input checked="" type="checkbox"/> 栽培計画書	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
※追加申請しているほ場の状態 (有機・転換期間中)		転	転	転	転	有	有					
ケ)	<input checked="" type="checkbox"/> 追加申請している農家のほ場の地番・面積の根拠となる書類	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
追加生産農家が申請している施設番号		1	2	3								
コ)	<input checked="" type="checkbox"/> 有機農産物の生産に使用する施設一覧(農B2-1)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
サ)	<input checked="" type="checkbox"/> 施設の見取図(農B2-2)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
シ)	<input checked="" type="checkbox"/> 有機農産物の生産に使用する器具・備品一覧(農C-1)	<input checked="" type="checkbox"/>										
ス)	<input checked="" type="checkbox"/> 有機農産物の生産に使用する機械等一覧(農C-2)	<input checked="" type="checkbox"/>										
セ)	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (以下の3点の書類)											
	<input checked="" type="checkbox"/> 肥料及び土壌改良資材リスト(農A-4) リストに追加した資材名		有機ペレットボカシ									
	<input checked="" type="checkbox"/> 資材証明書 資材証明書を提出した資材名		有機ペレットボカシ									
	<input checked="" type="checkbox"/> 自家製資材の製造方法(農D-1) 追加した自家製資材名		自家製竹酢液、自家製堆肥									

注: グループの2農家以上の追加申請を行う場合はそれぞれの農家がこの変更申請書を作成して下さい。

注: ア)~ス)の書類の提出は必須ですので、□にはすべて印をつけて下さい。

追加するほ場の記載がそれぞれの書類に記載があるかを確認して□に印をつけて下さい。

注: ※については、追加ほ場の状態が有機なのか転換期間中なのかを記載して下さい。

有機は「有」と転換期間中は「転」と記載して下さい。

注: ケ)の書類は、登記簿や市役所・町役場、農協等が発行する土地台帳などが該当します。

注: セ)の書類の提出は必須ではありませんので、必要に応じて提出する際は□に印をつけて下さい。

追加申請しているほ場で使用された全ての資材の内、農A-4に記載がない資材について全てリストに追加して提出して下さい。追加した資材名をセ)に記載して下さい。

追加申請しているほ場で使用された全ての資材の内、農A-4に記載がない資材について、全ての資材証明書を取得して、そのコピーを提出して下さい。資材証明書を提出する資材名をセ)に記載して下さい。

追加申請しているほ場で使用された全ての資材の内、自家製資材があり、農D-1が提出されていないものがある場合、その資材の農D-1を作成して提出して下さい。追加した自家製資材名をセ)に記載して下さい。

農家名 自農 太郎		作成日 2014年 3月 5日															
栽培計画年		2014 年															
ほ場番号	品目名 (品種)	予定作付面積	予定生産量	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	本年度使用予定の肥料 土壌改良剤及び農薬他
1	タマネギ (ターボ)	10 a	4,000 kg	有・転								肥					・貝化石・自家製ボカシ ・グアノ3号
1	ナス (千両5号)	10 a	2,300 kg	有・転		肥					追						・貝化石・自家製ボカシ ・純粋木酢液
2	水稲 (キスヒカリ)	30 a	1,400 kg	有・転								追			肥		・自家製ボカシ・米ヌカ ・ハーモニシエル
3	トマト (桃太郎)	500 m ² (ハウス)	1,200 kg	有・転							肥						・貝化石・自家製ボカシ ・自家製EM5・木酢液
3	ホウレン草 (次郎丸)	15 a	2,000 kg x 2	有・転			肥						肥				・貝化石・自家製ボカシ ・グアノ7号
4	水稲 (コジヒカリ)	全面積	1,600 kg	有・転								追			肥		・自家製ボカシ・米ヌカ ・ハーモニシエル・有機1号
5	ウメ (南高梅)	30 a	3,600 kg	有・転				土	土				肥		剪		・EM5・自家製ボカシ ・純粋木酢液
<p>・ほ場をいくつかに分割して、異なる作物を栽培する場合は、それぞれの作物について、予定作付面積を記載して下さい。</p> <p>・同じ面積で複数回、作物を栽培する場合は、最初の1回分の面積で記載して下さい。</p> <p>・認定ほ場の全面積を使用して栽培する場合は、面積欄に「全面積」と記載すれば、具体的な面積の記載は不要とします。</p>																	
<p>【記号説明】 〔 〕は種 ()は種 ()定植 (肥)基肥 (追)追肥 (土)土壌改良剤・その他の資材施用 ()収穫 (剪)剪定 ()栽培期間 予定作付面積は、認定面積を越えないように記入して下さい。 使用予定の資材名は、農A-4リストに記載されている正式名称、愛称、略称で記入して下さい。 本計画書や生産管理記録等に使用資材名を愛称、略称で記入する場合は、農A-4リストに愛称、略称を明記して下さい。</p>																	
<p>今年から新しく使う資材 (あり・なし) ・グアノ3号 ・有機1号</p>																	

- ・認定申請する全てのほ場について、年間の栽培計画を立て、提出して下さい。
- ・認定後は、毎年提出して下さい。
- ・この計画年に追加申請するほ場も記載して下さい。

栽培計画書はこの書式を使用しなくても、必要事項（この書式と同じ項目の内容）が記載されていれば、どのような書式でも構いません。

20140215 版

農M - 1 - 栽培計画書 2014 年

農家名		自農 太郎		作成日		2014年 3月 15日	
ほ場番号		2	3	15	20		
区分		有機・転換期間中	有機・転換期間中	有機・転換期間中	有機・転換期間中		
品目名(品種)		ナス (千両5号)	キャベツ (YR35号)	梨 (豊水)	水稻 (コシヒカリ)		
予定作付面積		20 a	10 a	30 a	30 a		
予定生産量		16 t	春 4t/秋 4t	1,500 kg	1,400kg		
1月			肥		剪		
2月	<p>ほ場をいくつかに分割して、異なる作物を栽培する場合は、それぞれの作物について、予定作付面積を記載して下さい。</p> <p>同じ面積で複数回、作物を栽培する場合の予定作付面積は、最初の1回分の面積で記載して下さい。</p>	肥					
3月							
4月							
5月							
6月							
7月		追					
8月							
9月							
10月							
11月						土	肥
12月						肥	
<p>【記号説明】</p> <p>【 】は種 【 】定植 【 ■■■■ 】収穫 【剪】剪定 【 】栽培期間</p> <p>【土】土壌改良剤・その他の資材施用 【肥】施肥 【追】追肥</p> <p>果樹類や茶木類のように栽培が続く場合は、栽培期間を示す線を上から下まで記入して下さい。</p>							
<p>本年使用予定の資材（肥料・土壌改良剤・農薬など）</p> <p>・自家製ボカシ ・貝化石 ・EM5号 ・木酢液 ・EM1 ・EM3 ・糖蜜</p>							
<p>今年から新たに使う資材（資材）</p> <p>・ヒトデミックス肥料</p>							
<p>・認定申請する全てのほ場について、年間の栽培計画を立て、提出して下さい。</p> <p>・認定後は、毎年提出して下さい。</p> <p>・この計画年に追加申請するほ場も記載して下さい。</p>							

予定作付面積は、認定面積を越えないように記入して下さい。

使用予定の資材名は、農 A-4 リストに記載されている正式名称、愛称、略称で記入して下さい。

本計画書や生産管理記録等に使用資材名を愛称、略称で記入する場合は、農 A-4 リストに愛称、略称を明記して下さい。

農M-2 有機JAS格付実績報告書（2012年4月1日～2013年3月31日）

2013年6月25日作成

生産行程管理者名（グループ名）	熱海有機生産グループ	格付責任者名	自農 花子
格付した有機農産物名		総 量	
1	米		17,400 kg
2	大豆		2,500 kg
3			kg
4			kg
5			kg
6			kg
7			kg
8			kg
9			kg
10			kg

出荷の有無、格付表示の有無に関わらず、格付検査(生産行程の検査)で合格した数量(格付数量)を生産行程管理者として報告して下さい。
 グループで認定を受けている生産行程管理者は、全農家の格付数量の合計を農産物の種類ごと(別紙参照)にまとめて報告して下さい。なお、各農家が個々に報告することはやめて下さい。

報告期間は前年4月1日～今年3月31日

格付実績報告書は、格付規程に定めている期日(遅くとも6月末日)までに認定事務局に提出して下さい。